



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 K&Oエナジーグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1663 URL <http://www.k-and-o-energy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶田 直
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部マネージャー (氏名) 中山 正吾 (TEL) 0475-27-1011
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 平成29年9月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	31,087	1.0	2,301	△17.2	2,515	△15.9	1,769	△8.4
28年12月期第2四半期	30,793	△25.3	2,778	△19.0	2,989	△26.7	1,932	△26.8

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,887百万円(77.5%) 28年12月期第2四半期 1,063百万円(△64.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	64.63	64.21
28年12月期第2四半期	70.55	70.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	90,422	74,374	78.1
28年12月期	89,622	72,846	77.1

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 70,617百万円 28年12月期 69,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年12月期	—	14.00			
29年12月期(予想)			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,600	5.6	2,700	△16.5	3,100	△14.6	2,100	△12.6	76.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	30,336,061株	28年12月期	30,336,061株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	2,949,972株	28年12月期	2,949,804株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	27,386,191株	28年12月期2Q	27,386,603株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念されたものの、企業収益や雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。

こうしたなか、当第2四半期連結累計期間の売上高については、主にガス事業の売上高が増加したことにより、前年同期に比べ1.0%増加の310億87百万円となりましたが、ガス仕入費用の増加やヨウ素販売価格の低下などにより、営業利益については前年同期に比べ17.2%減少の23億1百万円、経常利益については15.9%減少の25億15百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については8.4%減少の17億69百万円となりました。

なお、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は次のとおりであり、増減の比較については、全て「前年同期」との比較となっております。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しており、従来の「ヨード・かん水事業」を「ヨウ素事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

<ガス事業>

発電用途でのガス販売量が増加したことなどにより、売上高については2.2%増加の283億41百万円となりましたが、ガス仕入費用や新規開発による減価償却費の増加などにより、営業利益については8.6%減少の30億70百万円となりました。

<ヨウ素事業>

国際的な価格低下の影響を受けヨウ素販売価格が低下したことなどにより、売上高については14.7%減少の16億15百万円、営業利益については27.0%減少の5億15百万円となりました。

<その他>

器具販売事業の売上高が減少したものの、利益率が向上したことなどにより、売上高については2.3%減少の11億30百万円、営業利益については43.0%増加の90百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

<資産の部>

流動資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ3.7%減少の347億56百万円となりました。また、固定資産は、設備投資による機械装置及び運搬具の増加などにより、前連結会計年度末に比べ4.0%増加の556億65百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末並の904億22百万円となりました。

<負債の部>

流動負債は、設備投資に係る未払金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9.5%減少の85億18百万円となりました。また、固定負債は、設備投資資金の調達による長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2.2%増加の75億29百万円となりました。以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4.3%減少の160億48百万円となりました。

<純資産の部>

純資産合計は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2.1%増加の743億74百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

＜現金及び現金同等物の四半期末残高＞

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、期首に比べ31.7%減少の159億67百万円となりました。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより、46億16百万円の収入（前第2四半期連結累計期間に比べ1.1%増加）となりました。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

有形固定資産や有価証券及び投資有価証券の取得などにより、118億71百万円の支出（前第2四半期連結累計期間に比べ9.4%減少）となりました。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

配当金の支払いなどにより、1億60百万円の支出（前第2四半期連結累計期間に比べ14.1%減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想については、発電用途でのガス販売量の増加や輸入エネルギー価格の影響による一部のガス販売価格上昇、ヨウ素販売価格の上昇や経費の減少を見込むことなどから、平成29年2月14日付の「平成28年12月期決算短信」で公表しました連結業績予想を下記の通り修正しております。

なお、配当予想については変更ありません。

平成29年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 56,600	百万円 2,500	百万円 2,900	百万円 2,000
今回修正予想(B)	59,600	2,700	3,100	2,100
増減額(B-A)	3,000	200	200	100
増減率(%)	5.3	8.0	6.9	5.0

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,402	17,187
受取手形及び売掛金	5,835	5,117
有価証券	3,490	10,001
たな卸資産	922	944
その他	1,446	1,509
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	36,094	34,756
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	12,876	16,397
その他(純額)	24,047	22,814
有形固定資産合計	36,924	39,211
無形固定資産		
1,259	1,259	1,169
投資その他の資産		
投資有価証券	13,342	13,280
その他	2,049	2,053
貸倒引当金	△47	△48
投資その他の資産合計	15,344	15,284
固定資産合計	53,527	55,665
資産合計	89,622	90,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,626	3,206
引当金	27	24
その他	5,757	5,287
流動負債合計	9,411	8,518
固定負債		
長期借入金	837	1,030
退職給付に係る負債	5,081	4,995
引当金	207	241
その他	1,238	1,262
固定負債合計	7,365	7,529
負債合計	16,776	16,048

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	13,922	13,922
利益剰余金	48,020	49,406
自己株式	△1,132	△1,133
株主資本合計	68,809	70,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	946	1,008
退職給付に係る調整累計額	△625	△587
その他の包括利益累計額合計	321	421
新株予約権	189	213
非支配株主持分	3,525	3,543
純資産合計	72,846	74,374
負債純資産合計	89,622	90,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	30,793	31,087
売上原価	23,557	24,273
売上総利益	7,235	6,813
販売費及び一般管理費	4,457	4,511
営業利益	2,778	2,301
営業外収益		
受取配当金	59	117
受取賃貸料	72	70
その他	123	88
営業外収益合計	255	276
営業外費用		
支払利息	18	13
賃貸費用	12	12
寄付金	5	33
その他	8	3
営業外費用合計	44	62
経常利益	2,989	2,515
特別利益		
受取損害賠償金	—	24
その他	27	0
特別利益合計	27	25
特別損失		
固定資産除却損	82	37
その他	3	1
特別損失合計	86	38
税金等調整前四半期純利益	2,930	2,501
法人税等	955	717
四半期純利益	1,975	1,784
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,932	1,769

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,975	1,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△940	65
退職給付に係る調整額	28	38
その他の包括利益合計	△911	103
四半期包括利益	1,063	1,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,147	1,870
非支配株主に係る四半期包括利益	△83	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,930	2,501
減価償却費	1,987	2,120
受取利息及び受取配当金	△135	△164
支払利息	18	13
売上債権の増減額 (△は増加)	2,575	704
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△127	△22
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,813	△420
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56	△86
その他の引当金の増減額 (△は減少)	30	32
固定資産除却損	26	25
その他	△322	△99
小計	5,226	4,604
利息及び配当金の受取額	151	185
利息の支払額	△18	△13
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△794	△159
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,564	4,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,342	△5,231
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△19,841	△19,311
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	9,702	12,933
長期預金の預入による支出	△300	—
長期預金の払戻による収入	700	—
その他	△20	△261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,101	△11,871
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	505	505
長期借入金の返済による支出	△276	△282
配当金の支払額	△383	△382
非支配株主への配当金の支払額	△31	—
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	△160
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,724	△7,415
現金及び現金同等物の期首残高	24,155	23,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,430	15,967

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	27,744	1,892	29,637	1,156	30,793	—	30,793
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	49	—	49	41	91	△91	—
計	27,793	1,892	29,686	1,198	30,885	△91	30,793
セグメント利益	3,360	705	4,065	63	4,129	△1,350	2,778

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,350百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,482百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	ガス事業	ヨウ素事業 (注) 1	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	28,341	1,615	29,956	1,130	31,087	—	31,087
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	37	—	37	5	43	△43	—
計	28,378	1,615	29,993	1,136	31,130	△43	31,087
セグメント利益	3,070	515	3,585	90	3,676	△1,374	2,301

(注) 1. 第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しており、従来の「ヨード・かん水事業」を「ヨウ素事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△1,374百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,507百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。